

ガイドラインに基づく サービス自己評価 事業者向け (2024年2月)							配布	13	回収	13	回収率	100.0%
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計	改善目標、工夫している点など				
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	4	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上園庭や外遊びの設定、活動内容によってスペース分けをしている。 ・雨天の日は、屋上園庭が使えない為、室内での過ごし方を特に意識している。 ・間仕切りを使用して空間を分けたり、屋上園庭の活用などで 児童が密にならないように工夫している ・空間を分けて活動している。 ・屋上園庭があり、運動遊びやテントなどをだして遊ぶ事ができるようにしている。 ・活動する場所を職員間で話し合い、どの児童も心地よく活動ができるように工夫しています。 ・雨天時など屋上園庭が使用できない時には、室内だけでは狭く感じる。 				
			69.2%	30.8%	0.0%	0.0%						
	②	職員の配置数は適切であるか	11	1	1	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・常に全体を見る職員がいる状態で個別や少人数の児童を対応するように意識している。 ・心理学を学んでいる学生の指導員を配置して、個別の対応ができるよう工夫がある ・心理学を履行している学生バイト職員を積極的に配置して、安全面対策や見守りなどに複数の支援者がいる。 				
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	6	1	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関やプレイルームはバリアフリー化されている。 ・事業所が建物の2階部分にあるが、必要に応じてエレベーターをいつでも使用できるようにしている。 					
		46.2%	46.2%	3.0%	0.0%							
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	6	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・改善したことの評価や見直しまでできるともついいと思いますが、できている部分とまだそこまではできていない部分があると思う。 ・会議や打ち合わせでメモや申し送りの文章も記録して細部にわたって工夫している。 ・毎月の事業所会議は常勤職員のみで行っており、非常勤職員は会議への意見を事前にあげてもらったり、会議の報告を確認してもらっている。 ・会議の時間設定や業務の進め方など、随時改善案を出して、振り返りもしている。定期的な振り返りの時間は設定できていない。 				
			53.8%	46.2%	0.0%	0.0%						
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	6	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けアンケート調査を職員間で共有して業務改善につなげている。 ・保護者からのアンケート等に限らず保護者からの発信された内容は、引き継ぎ表にて共有し、職員全員が把握したかの確認するようにしている。 				
			53.8%	46.2%	0.0%	0.0%						
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	6	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・結果については、法人ホームページにて公開している。 				
			53.8%	46.2%	0.0%	0.0%						
	⑦	第三者により外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	4	7	2	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の第三者評価は実施していないが、地域の方に第三者委員として苦情などを確認していただいていたたり、法人内部監査を毎年実施して業務改善につなげている。 				
			30.8%	53.8%	15.4%	0.0%						
⑧	職員の資質向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	10	3	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・他の職員が研修を受けた際は、会議などで教えてもらい情報を共有している。 ・常勤職員、非常勤職員問わず研修の機会を確保している。 					
		76.9%	23.1%	0.0%	0.0%							
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行ない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	2	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・1年に1回、保護者にニーズ調査票に記入してもらったり、面談を行なうことで、ニーズや課題の分析を行なっている。 ・評価について話し合ったことは記録されており、職員に共有している。 ・新規利用児童については、初回面談と書類に記入してもらい形でアセスメントを行なっている。 ・会議に参加していない非常勤職員は、会議レジュメに意見を書き込み、その意見も踏まえて毎月の会議で子どもの様子など情報共有を行ない、放課後等デイサービス計画を作成している。 				
			84.6%	15.4%	0.0%	0.0%						
	⑩	子どもの適応行動の状況を回るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	5	1	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて発達検査(新版K式発達検査)を実施して、結果を基に支援につなげている。 ・就学前の療育機関から、保護者の了解を得て発達検査(新版K式発達検査)の結果を情報共有している。 				
			53.8%	38.5%	7.7%	0.0%						
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行なっているか	12	1	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員を中心に、必要に応じて契約職員も一緒に相談しながら計画している。その後の準備や当日の実施は全員で行なっている。 ・計画書から振り返りまで、チームワークを発揮して役割分担して立案している。 ・毎月の会議内で活動プログラムについての振り返りを行なっている。 				
			92.3%	7.7%	0.0%	0.0%						
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1	1	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい活動の提案など、各職員が行なっている。また、児童からの提案された活動についても実践できるか話し合っ、実現できるものについては、実際に計画して実施している。 ・季節や、その時の流行の遊び、児童のリクエストを吸い上げる工夫をしている。 ・多種多様な遊びを準備しておき、写真等で提示し、児童の要望をきいてから療育がスタートするスタイルを職員同士で積み重ねている。 ・子ども達に合った、また、子どもの興味など踏まえながら、新しい活動を提案している。 				
			84.6%	7.7%	7.7%	0.0%						
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	6	1	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の姿や家族の要求をタイムリーに共有して、引き継ぎ帳への記録などを徹底している。 ・月に2~4回、課題活動を計画して児童に提供している。 ・当事業所では、自由遊びを基本としている為、児童と相談して活動内容を決めて行なっている。 				
			46.2%	46.2%	7.7%	0.0%						
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	1	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・数年にわたって利用される児童にたいしても、長期的な支援 目の前の課題を大事にしながらも ライフステージや 発達段階の要求の吸い上げなどを職員間で話せていけたらと思う。 ・必要に応じて個別、集団の活動を行なっている。場所を分けたり、遊びや活動を分けることがある。 ・全員で一斉に同じ活動をするには年に数回の行事等で行なっている。 				
			92.3%	7.7%	0.0%	0.0%						
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	3	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後利用の際は、迎えよりの時間に引き継ぎをしている。休業日利用の際には、出勤時間が違ったり、受け入れ開始が早いこともあり、引き継ぎという時間は設けていないが、職員同士で声をかけ合っって情報共有を行なっている。 ・時系列や前回の利用時の姿などもスケジュールとし記録されていて、全連の動きと個別の配慮事項が申し送りされる工夫した日もありますが、多忙な状況や連携事項が増えるなかでも児童を真ん中に実践を共有している。 ・気付きは細かくメモなども活用して、打ち合わせにて共有している。また引き継ぎ表、日誌とも様子を細かく記入し、児童の気持ちや表情なども記録するよう努力している。 					
		76.9%	23.1%	0.0%	0.0%							
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか	4	6	3	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・退勤時間が職員によって違うため、引き継ぎという時間は設けていないが、変わったことや児童の様子など、情報共有を行なったり、翌日の引継ぎの際に話し合いを行なっている。 ・職員が全員集まり、打ち合わせという形で行っていないが職員同士でその日の支援の振り返りなどを話している。 ・多くの支援が必要な児童では特に、事業所全体の共通した支援をする為の職員間の連携が重要である。 ・集まって振り返りなどはしていませんが、片付けなどをしながらその日の振り返りをしていることもあります。 					
		30.8%	46.2%	23.1%	0.0%							
⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	1	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・日誌を書く時間の確保が出来ている。 					
		92.3%	7.7%	0.0%	0.0%							
⑱	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	4	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的には6か月に1回はモニタリングを行ない、必要に応じて計画の見直しを行なっている。 					
		69.2%	30.8%	0.0%	0.0%							
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行なっているか	9	4	0	0	13						
		69.2%	30.8%	0.0%	0.0%							

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	8	5	0	0	13	・必要に応じて参加している。
			61.5%	38.5%	0.0%	0.0%		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	2	0	0	13	・下校時間は、保護者に確認するか、各学校のホームページで確認している。ホームページに掲載していない時は、学校へ確認している。 ・現在、利用している児童には、医療的ケアが必要な児童はいないが、てんかん発作などの際の対応については、確認を行ない、統一した対応ができるようにしている。 ・急遽、閉所となった場合に、児童に休みであることや帰りのことについて、児童に伝える為、学校の協力を得ることができた。
			84.6%	15.4%	0.0%	0.0%		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	7	1	0	13	・直接、病院との連携はなかったが、関係者会議等の中でてんかん発作時の対応の確認を行なった。 ・現在、利用している児童には、医療的ケアが必要な児童はいないが、てんかん発作などの際の対応については、確認を行ない、統一した対応ができるようにしている。 ・現在利用している子どもには、対象となる子どもがいない。
			38.5%	53.8%	7.7%	0.0%		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10	3	0	0	13	・必要時には、行なっている。 ・就学前の療育機関の情報を頂いたり、必要に応じて会議の場を持つなどして連携を取っているが、全員はできていない。
			76.9%	23.1%	0.0%	0.0%		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等	7	6	0	0	13	・事業所の受入れ対象児童を小学生に限定しているため、障がい福祉サービス事業所への移行の際に情報提供などは行っていない。必要に応じて、小学校卒業時には次の放課後等デイサービス事業所への引継ぎは行なっている。
			53.8%	46.2%	0.0%	0.0%		
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	4	1	0	13	・児童発達支援センターとは、その施設の卒業生について情報を共有したり、助言を受けることがある。また、利用児童の関係者会議に参加してもらい意見を頂くこともある。 ・発達障害者支援センターとの関わりについては、センター主催の研修に参加することはある。	
		61.5%	30.8%	7.7%	0.0%			
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	6	3	0	13	・交流する機会としては設けていないが、公園遊びなどに行った際に地域の子どものとの交流がある。 ・公園に行った時や農作業体験をした際に地域の子とも連と関わることがあった。 ・公園等で地域の児童と一緒に遊んだり、話をすることはある。しかし、障がいのない子どもと活動する機会については、特別に設定しているわけではない。 ・児童の中には、「外の公園には知らない子がいるから、中(室内)で遊びたい。」という思いの児童もおり、安心して遊ぶことができない場合もある。そのため、各児童の状況に応じて、児童と話し合いながら活動や遊びを組み立てていきたい。 ・全員ではないが、地域の公園などで地域の児童と一緒に遊ぶ機会がある。	
		30.8%	46.2%	23.1%	0.0%			
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	7	1	0	13	・直接参加はしていないが、その協議会へ参加した職員から情報を頂いている。または、所属する団体から間接的に情報を得ている。	
		38.5%	53.8%	7.7%	0.0%			
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	1	0	0	13	・送迎時や連絡帳で伝えている。 ・連絡帳や送迎時に情報共有を行なっている。 ・年に1〜2回、また随時、保護者と面談を行なっている。 ・連絡ノートの記入を含め、一人ひとり漏れなく目を通せる工夫がある。 ・普段は送り迎えの際に口頭で話をしたり、年度後半には保護者と面談の機会を持っている。	
		92.3%	7.7%	0.0%	0.0%			
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	8	4	1	0	13	・ペアレント・トレーニングを実施することはないが、相談、助言等は行なっている。 ・保護者に対して電話や面談などで助言やアドバイスや、関係者会議での話し合い等の保護者支援を行なうことがある。 ・通信などで療育の願いや保護者への啓発につながるコラムを作成した。 ・事故から保護者と話したり、面談の機会を通じて家庭での児童への対応などのアドバイスなどを行なうことがある。	
		61.5%	30.8%	7.7%	0.0%			
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	8	4	1	0	13	・運営規定や利用者負担等については、契約時に説明を行なっている。 ・支援内容については、個別懇談時に細かく説明している。
			61.5%	30.8%	7.7%	0.0%		
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	8	5	0	0	13	・相談を受けた際は、職員間で話し合ったり、応えている。 ・職員間で共有するよう意識づけがある。 ・必要に応じて電話での相談や直接面談などを行ない、助言やアドバイス等を行なっている。 ・年度末(1〜2月)に保護者に方に事業所へ来ていただいで個別に面談の機会を持っている。そこでは、児童の成長や1年の様子などの情報を共有している。 ・また、児童が学校で困っているような場合には、保護者と学級担任などと話し合うなどの連携を行なっている。 ・傾聴の姿勢を大切にしながら 家族の願いを受け止めている。保護者と話す前には、一度職員間で議論してから適切な助言ができるよう心がけている。
			61.5%	38.5%	0.0%	0.0%		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	3	6	4	0	13	・保護者同士の情報交換の機会については、『茶話会』という形で今年度は数年ぶりに1回実施した。
			23.1%	46.2%	30.8%	0.0%		
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2	0	0	13	・苦情、意見を頂いた際には、苦情受付記録に残し、苦情受付責任者(管理者)に報告している。また、職員間でその苦情について対応を協議して対応している。
			84.6%	15.4%	0.0%	0.0%		
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2	0	0	13	・毎月、通信を発行して家庭へ配布している。 ・また、直接送り迎えをされる保護者や児童向けに、活動写真を掲示(毎月更新)して見てもらっている。
			84.6%	15.4%	0.0%	0.0%		
㉟	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	0	13	・契約時に個人情報の使用について文書で承諾を得ている。また、実際に個人情報を使用する際には、個別にその都度保護者と児童に確認している。 ・全職員が緊張感を持って個人情報の取り扱いに気をつけている。	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
㊱	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	2	0	0	13	・相手に分かりやすい説明を心掛けている。 ・専門用語をできるだけ使用しないようにしている。 ・言葉での説明の理解が難しい場合、写真やイラストなどを使用した文書を用いて説明を行なうこともある。	
		84.6%	15.4%	0.0%	0.0%			
㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6	5	0	13	・事業所周辺の清掃活動を毎月1回行なっている。 ・利用児童の受け入れが無い時間帯に、松永東保育所が行なう地域の子育て支援事業で事業所を使用することがある。	
		15.4%	46.2%	38.5%	0.0%			

非常時等の対応	⑩ 緊急対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知説明しているか	7	5	1	0	13	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に周知はできていないので、ホームページ等で公開したり、事業所に来られた時いつでも見ることが出来るようにする。 各種マニュアルを策定しているが、常に見ることは出来ないため、ホームページなどで最新のものいつでも見ることが出来るようにしていきたい。
		53.8%	38.5%	7.7%	0.0%		
	⑪ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行っているか	13	0	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな場面(火災、地震、地震からの火災、不審者、津波)を想定して毎月1回訓練を行っている。 具体的にテーマを決めて実施し、職員間で振り返っている。 訓練がマンネリ化する事なく計画、実施、振り返りを職員全員で行っている。
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	⑫ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	3	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> 研修した中身や資料を会議で報告共有し、会議録にも記述して重要なポイントとして位置付けている。 毎年虐待防止についての外部研修へ参加しており、その内容は全職員で共有している。
		76.9%	23.1%	0.0%	0.0%		
	⑬ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画書に記載しているか	10	3	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束マニュアルを作成して保護者へ配布して周知している。 身体拘束を行なった時には、その時の状況について記録している。 意識が向上する気付きあいを大切にしていて、身体拘束事案があれば専用の書式に記録し、実施が適切だったか会議にて振り返っている。
		76.9%	23.1%	0.0%	0.0%		
	⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	7	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、対象の児童はいない。 必要な児童については、保護者からアレルギーの情報(アレルギー結果結果)を提出してもらい、職員間で把握して対応している。 食品を保管している倉庫に掲示しており、おやつ等を提供する際には毎回確認している。
		46.2%	53.8%	0.0%	0.0%		
⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13	0	0	0	13	<ul style="list-style-type: none"> 全員で共有するために共有ファイル上でヒヤリハット報告書を記入し、毎月の会議でヒヤリハット事例を確認し、今後の対策を話し合っている。緊急性のあるものについては、その都度話し合っている。 気づきはすぐに記録することを心掛け、全職員が見れるように周知している。 	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	4	0	0	31	・室内と野外などを工夫して子どもたちが自ら選んだ遊びができるようになっている。 ・雨の日は部屋の中での活動になるので狭いかなど感じる。 ⇒確かに雨天時などで「屋上園庭」が使用できない場合には室内だけでは狭いです。その際には安全を確保しながら屋内の他のスペース(廊下、踊り場)を使用しています。 ・活動している子供の姿実際にしているわけではないので、判断しかねます。 ⇒今後、子ども達が活動中様子を見てもらうような機会を設けることが出来るよう検討していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	27	4	0	0	31	・悩みや困ったことを相談したら、学校に向いまして改めて専門知識を生かして説明して説明して下さったり、保護者の思いを親身になって聞いてくださる。 ・いつも丁寧に対応して下さるのでありがたいです。 ・学生さんの職員さんがいますが、研修などされているのでしょうか？若くて年近く憧れの人になると思われれますが、瞬時に専門性や感性が求められる場面も多く、どのように指導されているか心配しています。 ⇒大学生の職員については、定期的に事業所内部で研修の機会を設けています。また、子ども達との関わりでは、他の職員から離れて学生だけで対応することがないようにしています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切にされているか	28	3	0	0	31	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	30	1	0	0	31	・定期的面接をして下さって、現状の困り具合や、学校での様子、希望など聞いて下さり、作成していただいている。 ・どんな遊びをしたか、というのは伝えられるので分かります。しかし、課題についてどんな取り組みやアプローチなどをしてもらえたか具体的に分からないと感じます。 ⇒ご意見ありがとうございます。確かに取り組み内容やアプローチの方法などはお伝えできていないため、来年度は療育の内容について、詳しく説明させていただきます。
	⑤	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	28	3	0	0	31	・お便りでもわかるが、色々な活動が準備されている。 ・平日、長期休暇それぞれ活動可能時間に合わせて、多くの活動内容を提案して下さり、子どもたちには選択の自由もあり、すぐ楽しい時間をつくっていただいています。ありがとうございます。 ・色々な遊びを提供していただいていると思います。 ・休日は少し距離のある場所へ遠出してたり、夏休みはプール活動をしてくれていて、様々な活動を体験できています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	15	3	0	31	・土曜日だけの利用で、そのような交流があるのか分かりません。 ⇒障がいのない子どもとの関わりについては、公共の公園などで一緒に遊ぶこともあります。
保護者への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	1	0	0	31	・その都度、疑問に思ったことがあると質問でき、答えてくださる。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	3	0	0	31	・親には気づけない視点で、子供についてお話を下さる事にいつも感謝しています。 ・寄り添っていただいていると感じています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	1	0	0	31	・④の回答の通りです。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	9	14	8	0	31	・休日であれば参加したいです。 ⇒今年度は学校のある時期の平日の午前に開催しました。どの日に開催するか検討させていただきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	9	1	0	31	・トラブルがあったことも双方の保護者に知らせてくれ、できるだけその場の解決に導いてくれる。 ・経験がありません。 ・そういった場面がまだないので分かりません。 ・苦情等、聞いたことがありません。 ⇒ご意見や苦情を頂いた時の対応や体制について、通信などで説明させていただきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	4	0	0	31	・細かく具体的に状況を説明して下さって、様子がよくわかる。 ・聞いて欲しい時はいつも確実に聞いてくれる。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に発信しているか	29	2	0	0	31	・広場の様子がよくわかるお便りありがたい。 ・出来れば、こども広場さんのお休みの日が、分かるカレンダーを頂きたいです。 ⇒年度初めににお渡しできるよう検討させていただきます。
非常時 等の 対応	⑭	個人情報に十分注意しているか	29	1	1	0	31	
	⑮	緊急対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知説明されているか	23	7	1	0	31	・来所時の検温、消毒などきちんとされている。
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	29	2	0	0	31	・放課後、休日のこころの抛り所だと思え、迎えての子ども表情からうかがえる。 ・通所の日を楽しみにするようになった。いろんな活動を体験させてもらいたい。 ⇒色々な体験をすることは大事ですね。できるだけ色々な体験をしてもって自信につなげてもらえたらと思います。 ・子どもの特性を理解し受け入れてくれるので安心して通っています。 ・とても大好きな場所になっています。気持ちが強く出て、「こどもひろば」と自ら言うようになりました。
	⑰	事業所の支援に満足しているか	29	2	0	0	31	・いつも親子共に寄り添った支援をして頂いて感謝しています。 ・自宅まで送迎があれば嬉しいです。 ⇒確かにご自宅までの送迎があると良いと思うのですが、送迎にかかる時間を短くして活動時間を最大限とるために、送迎は近距離でステーション方式(スーパー等の駐車場への送迎)にさせていただきます。 ・代休などの休校日の1日利用は、満足以上に感謝です。 ・中学、高校と利用できればうれしいのですが、利用出来る様にならないかなと。 ・中学生になっても、相談できる環境や利用の仕方を検討してほしい。 ⇒こども広場は場所が保育所の2階部分にあるということ、屋内があまり広くないために小学生までとしています。 ⇒ただし、そのようなニーズにお応えできるよう検討していきます。